

みやこ経済循環円卓会議について

1. 背景・これまでの経緯

- (1) 令和4年度：産業連関表作成 → 需要増＋移輸入増（漏れバケツ）**産業構造の転換が必要**
- (2) 令和5年度：市民WS、事業者WS、職員研修会 → 経済循環の重要性を共有
※マクロな構造分析に加えて、より詳細な効果分析が必要
- (3) 令和6年度：LM3調査手法導入（**飲食業**⇒**卸・小売業**⇒**生産**）の3段階を追跡する調査）

2. 事業の目的（事業名：島の経済循環『見える化』プロジェクト）

持続可能な循環型経済へ転換

地域経済の健康診断

- 客観的なデータに基づき
- 官民が「漏れ穴」のターゲットを共有
- （一過性でなく）継続的に取り組む



- ①情報収集：アンケート等による情報収集
- ②データ分析：収集した情報の分析
- ③分析結果共有：ターゲットを共有
- ④官民の取り組み



サイクル確立

3. 会議の狙い（会議名：みやこ経済循環円卓会議（以下、「円卓会議」））

こうした仕組みをつくるためには、事業に関わる多くの関係者と取り組みの目的や意義を共有するとともに、情報収集や共有の仕組みづくりに向けて、現実的かつ効率的な方法について、互いにアイデアを出し合うことが重要。様々な関係者が対等な関係性のもとに集う場として、みやこ経済循環円卓会議を設置する。

4. 円卓会議の概要

- (1) 第1回円卓会議（7月23日(火)）
- ゴール：①目的理解、②一次調査（飲食）に向けた課題と解決策アイデアだし
 - メンバー：飲食業経営者・流通関係者10人程度＋関係機関3人
- (2) 第2回円卓会議（10月初旬）※説明会同時開催
- ゴール：①調査内容共有、②推進体制構築
 - メンバー：飲食業経営者＋流通事業者＋生産事業者、関係機関 計20人
- (3) 第3回円卓会議（2月）※シンポジウム（公開）形式
- ゴール：①事業全体の周知、②調査の報告
 - メンバー：飲食業経営者＋流通事業者＋生産事業者、関係機関 計20人